

シルバー探勝会だより

世話人 廣幡慶美

会員の皆様、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

- 新しい出会いや発見のチャンスがいっぱいです、是非ご参加ください。
- 参加される方は、実施日の1ヶ月前までに廣幡（Tel.04-7183-1090）へご連絡ください。
- 行き先の事前予約が取得できず、予告なく中止する場合がありますので予めご了承ください。

実施日	行き先	集合場所・時間
1月14日(火)	冬休み	
2月10日(月)	鈴木演芸場 (再掲載)	我孫子駅「改札口前」 午前9時00分
3月11日(火)	偕楽園と弘道館	我孫子駅「改札口前」 午前8時00分
4月9日(水)	皇居東御苑	我孫子駅「改札口前」 午前8時40分
5月13日(火)	六義園と古河庭園	我孫子駅「改札口前」 午前8時50分
6月10日(火)	「東京みなと丸」で 東京港めぐり	我孫子駅「改札口前」 午前8時00分
7月8日(火)	浜離宮恩賜庭園と 旧芝離宮恩賜庭園	我孫子駅「改札口前」 午前8時40分

※雨天の場合は原則中止。

※参加費として実施日に500円徴収させていただきます。

※探勝会では「傷害保険」に加入していません、各自の責任で対応して下さい。

行 き 先	概 要
<p>鈴本演芸場 (再掲載)</p>	<p>○安政4年(1857)に初代鈴木龍助が開いた「軍談席本牧亭」と言う講釈場が前身で、150年以上の歴史がある。寄席でも格式の高さは随一で、落語家の真打ち襲名披露なども行われる。落語の他にも色物芸なども上演されている。</p>
<p>偕楽園と弘道館</p>	<p>○偕楽園は、金沢の兼六園と岡山の後楽園と並ぶ日本三名園の一つです。天保13年(1842)、水戸藩第9代藩主・徳川斉昭によって造園され、民と偕(とも)に楽しむ場にしたという思いから偕楽園と名付けられました。</p> <p>○弘道館は、水戸藩9代藩主・徳川斉昭により1841年に設立された藩校です。弘道館と偕楽園とは学習と余暇を楽しむ対の施設として構想されたと言われていています。</p>
<p>皇居東御苑</p>	<p>○かつての江戸城の本丸・二の丸・三の丸に位置する。本丸には江戸幕府将軍の住居である本丸御殿や天守閣があり城の中核であった。全域を宮内庁が管轄し、1968年10月1日から一般に公開されている。</p>
<p>六義園と旧古河庭園</p>	<p>○六義園は、元禄8年(1695)年、五代将軍・徳川綱吉より下屋敷として与えられた駒込の地に柳澤吉保自ら設計、指揮、7年の歳月をかけて「回遊式築山泉水庭園」を造り上げたと言われていています。</p> <p>○旧古河庭園は、武蔵野台地の斜面と低地という地形を活かし、北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園、そして低地には日本庭園を配したのが特徴です。</p>
<p>「東京みなと丸」で 東京港めぐり</p>	<p>○東京湾は、日々進化しています。首都圏の生活と産業を支える物流をさらに円滑なものにするため、ふ頭や倉庫、橋や道路を整備して、港湾機能の充実・強化を図っていると言う。視察船「東京みなと丸」でめぐります。</p>
<p>浜離宮恩賜庭園と 旧芝離宮恩賜庭園</p>	<p>○日本的な風情が感じられる「浜離宮恩賜庭園」潮入の池と2つの鴨場を持つ江戸時代の代表的な大名庭園です。潮入の池とは、海水を導き潮の満ち干によって池の趣をかえる池のことです。</p> <p>○旧芝離宮恩賜庭園は、江戸時代初期に老中・大久保忠朝の屋敷内に作庭された築山泉水式の名庭園で、東京・江戸を代表する大名庭園の一つ。国指定名勝となっている。</p>